

科目	専攻科特別研究 I (Graduation Thesis for Advanced Course I)		
担当教員	講義科目担当教員		
対象学年等	都市工学専攻・1年・通年・必修・7単位		
学習・教育目標	B1(15%), B2(15%), B4(5%), C2(65%)	JABEE基準	(d),(e),(f),(g),(i)
授業の概要と方針	本科で修得した知識や技術を基礎として、さらに高度な専門工学分野の研究を指導教官の下で行う。専門知識の総合化により研究開発およびデザイン能力を高める。研究課題における問題を学生自ら発見し、広い視野をもって理論的・体系的に問題解決する能力を養う。研究課題の設定にあたっては研究の新規性、有用性、理論的検討を重視する。研究の内容や進捗状況を確認し、プレゼンテーション能力の向上を図るため発表会を実施する。研究成果を報告書にまとめ提出する。		
	到達目標	達成度	到達目標別の評価方法と基準
1	【C2】設定した研究テーマについて、専門知識をもとに研究遂行能力を養う。		研究課題の探究力、実験計画力、研究遂行力を日常の研究活動実績、および最終の報告書から評価する。
2	【B1】研究の経過を整理して報告し、研究内容を簡潔に発表する能力を身に付ける。		特別研究発表会において内容と構成、発表に対して評価する。
3	【B2】研究内容に関する質問に対して的確に回答できる。		特別研究発表会において質疑応答に対して評価する。
4	【B4】自らの研究課題と関連した英語の文献、論文を読む能力を身に付ける。		関連した英語論文を自らの研究に役立てているか、日常の研究活動状況や発表会での引用実績から評価する。
5			
6			
7			
8			
9			
10			
総合評価	成績は研究課題の探求・実験計画・研究遂行実績および最終報告書の充実度で70%、特別研究発表会の充実度で30%（中間10%・最終20%）として評価する。100点満点で60点以上を合格とする。		
テキスト	研究テーマごとに指定される。		
参考書	研究テーマごとに指定される。		
関連科目	都市工学に関する科目全て		
履修上の注意事項	本教科内容に関してI,IIの期間中に、最低1回の学外発表（関連学協会における口頭またはポスター発表）を義務付ける。		

授業計画(専攻科特別研究Ⅰ)

内容(テーマ, 目標, 準備など)

研究は下記から1テーマを選び担当教官の指導のもとで行う。

- 1) コンクリート構造物の高性能・長寿命化に関する研究 (水越睦視 教授)
- 2) 海岸などの水域における流体運動や底質移動に関する研究 (柿木哲哉 教授)
- 3) 斜面災害の発生危険度評価手法の構築に関する研究 (鳥居宣之 教授)
- 4) 鋼・コンクリート複合構造ならびに鋼構造部材の力学特性 (上中宏二郎 教授)
- 5) コンクリート凍害深さの評価法に関する研究 (高科豊 准教授)
- 6) 瀬戸内海の防災・環境保全に資する研究/兵庫県・神戸市内の地域防災に関する研究 (宇野宏司 准教授)
- 7) 盛土の安全性評価手法の開発に関する研究 (野並賢 准教授)
- 8) 人々の居心地に着目した建築計画及び地域計画に関する研究(田島喜美恵 准教授)
- 9) 居住環境の維持および改善に向けた交通施策の検討 (小塚みすず 准教授)
- 10) 風土性に根ざした地域計画の推進に関する研究 (高田知紀 准教授)

**備考** 本科目の修得には,210 時間の授業の受講と 105 時間の自己学習が必要である.  
中間試験および定期試験は実施しない.